

官業労働同盟 関東聯合會

（二年）

十二月十日午後四時半よりコンニヤク開演へ！！

十二月十日午後五時よりサワヤの裏へ！！

附職工も、御用を勤めた夫共も、この運動には参加した方が得たらう。いのだ、俺達は死力を盡してこの要求の貫徹を期さなければならない。この増額をしてもらはないと、生きて行けない、この要求には掛け引がない。職工も、御用を勤めた夫共も、この運動には参加した方が得たらう。

二、請負制度を撤廃し六分五厘の比率に依つて全従業員の日給を常備制と改正すること

一、官業労働同盟大會に依つて決せられたる、最高賃金二圓五十銭の要求は理想とし、日給二圓以下に金四十銭二圓以上に金三十銭の日給増額を要求する

以上は職首者に対する要求であるが、殘留者に対して左の二ヶ條を要求する。

三、大正三年度の職首者を再び當局が呼出せる者に對しては納賦當時に對つて特別手當を支給すること

二、特別手當は失業手當なるが故に勤続手當には何等關係なく同時に支給すること

一、軍備整理に依る特別手當は日給にあらずして日取のこと

五日にも日給と日取では頗に於て相違があるから、當局に左の要求をする。から特別手當の要求としてはこの位で斃入にならうけれども同じ七十五日にも日給と日取では頗に於て相違があるから、當局に左の要求をする。

一度勸令で發表した上は、再び、二ヶ年分の特別手當を發表する筈がない。軍備整理に依つて陸軍職工の、特別手當が發表されたが、官業労働同盟の要求の最低二ヶ年分の失業手當は七十五日分と決定された。が、然し

勇敢に戦ふべきか！！

それともカン物になるか？

俺達は左の要求の貫徹しないうちほどこまでも戦はなければならない

職首の豫定日も旬日に近い

斷末魔の日、呪ひの日、最後の執行。諸君！諸君の起つべき日は遂に來た

愈々來月六日から、職業紹介所が東京砲兵工廠内に出張所を設置する事になつたと、同時に職首も執行される事になつた、四千五百の人達が失望のどん底に、悲哀を感ずる時は目前に迫つて來た、恐怖すべき失業上出

愈々関東聯合會も捲土重来の大運動を開始する

來二月二十二日午後六時より

失業問題聯合幹部會

場所 傳道院前 イナリソバヤ樓上

二月二十五日午後一時ヨリ

失業問題大演說會

小石川、コンニヤクエン
王子、サハヤンクラ

官業労働同盟 関東聯合會

（五州新報社発行）